

## それぞれの道へ!

一般社団法人福島県水泳連盟

会長 杵岐ひろみ

今年も、全国中学(京都、インターハイ(熊本))と駆け足で応援してきました。

国体は、台風の爪跡が残る潮来のオープンウォーターから始まりました。

拓末くんは、東京での足止めからのバスで現地入り。優心ちゃんも、現地に着いたものの、俊樹監督と懐中電灯の中での夕食!

それでも、当日2人は、まだ濁りのある利根川で、5kを見事に泳ぎきりました。

競泳は、那珂湊の屋内プール。OW・水球の屋外会場からの屋内は別天地でした。感謝のひと言です。

中学から全国大会で活躍を続けてくれた翼くんは、最終日「引退します」と、迷いがふつ切れたようです。拓末くんは企業のスイムチームの道へ進みそう! 樹くん、翔一郎くんは社会人に。8年近く、みんな『ふくしま』を背負い頑張ってくれました。

そして、その後ろを追いなから頑張ってくれた高校3年生組も、それぞれ選んだ大学



や社会人の道へ。進学する子たちは、殆ど水泳を続けてくれるようです。嬉しいです。今回の国体で、皆を

引つ張ってくれた3年生(理乃、真生、幹大、智哉、蓮、叶空、朱佑) 本当にお疲れさま、そして有難う!

少年Bで見事入賞した、育夢、葉名の2人。その陰で2人を支えていた仲間たち。近くで、遠くで、いつも皆のことを見ていますよ。(嬉しい顔、悔しい顔、仲間を案じる姿、裏方の仕事を黙々とこなす姿...) みんな、大切な大切な私たちの『宝物』です。

「練習は裏切らない!」と誰かが言っていましたね。

もともと『ふくしま』を強くすると、口に出してくれた選手たち。

自信につながる「練習」と「諦めない心」を持って、自分の選んだ『道』を進みましょう。

## 全力で応援するぞ〜

### 私たちの水泳練習会

会津水泳連盟 池田昇平

会津水泳連盟では、この時期に強化練習会と普及練習会を実施しています。私もこの数年指導者として参加させていただいておりますが、そのたびに大学生の時に年末に行った大学での合宿のことを思い出します。

合宿初日の朝、8、500mの練習。顧問をしてくださったN先生の練習メニューの説明。その距離に圧倒され、練習内容があまり頭に入りませんでした。練習スタート、やはりサイクルアウトの連続、最後の方には体が動きませんでした。最後まで泳ぎ終わる、ダウンをしようとした時、

「サイクルアウトした分やり直し!!」という言葉が聞こえてきました。



学鳳中水泳部。練習会参加メンバーも。次の会津のエースが出てきてほしいです。

リレーエッセイ

## 河童道

何をサイクルアウトしたかも分らず、マネージャーの方の指示通りやり直しをし、3時間弱の練習が終わりました。10,000mの練習、物忘れがひどくなった今でも忘れることはない思い出です。合宿全日程終了後に雪に飛び込み、わけのわからないまま写真を撮っていました。その合宿から20年弱私が指導者として練習会に参加するとは思っていませんでした。今年も厳しい練習会になると思いますが、会津の選手が1人でも多く県や東北で活躍できるように私も頑張りたいと思います。選手一人一人が自分の目標をもち、メニューの意味を考え、考えながら練習に取り組んでいってもらいたいと思います。そして大会で良い記録を出す瞬間を見られるよう、大会に参加していきたいと思えます。

# 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

## 第74回国体総合成績

天皇杯(男女総合) 44位 12点  
皇后杯(女子総合) 36位 11点

### 入賞おめでとう!

		★ベスト	
少年B	男子		
8位	野矢 育夢(高1)	24.45	
	50m自由形	(予選7位)	24.17)
少年B	女子		
8位	秋山 葉名(高1)	26.93	
	50m自由形	(予選6位)	26.84★)

茨城県ひたちなか市において『いきいきゆめ国体』が開催されました。あまりに近すぎて国体という特別感のないまま会場に向かったのですが、大きな会場(室内プール)に驚きました。プールだけでなく、会場内の各部屋や施設も多く、スタンドは片方ですが対面のプールサイドにはゆとりもあり、ウッドデッキらしき場所を設置。折り返し側に2階通路があるのもゆとりを感じる一つでした。駐車場の心配もしましたけれど、広い敷地に施設を造ったためか野原のように広い場所で、心配は稀有なものでした。大会には福島県内各地

### 女子競泳予選

		★ベスト	
少年A	安達 光(高2)	2:21.32	
17位	200m背泳ぎ		
	菅家 綾美(高2)	2:38.50	
22位	200m平泳ぎ		
	菊田 真生(高3)	2:15.91★	
11位	200mバタフライ		
	高山 理乃(高3)	5:08.25	
21位	400m個人メドレー		
	安達・菅家・菊田・高山	4:24.11	
14位	400mメドレーリレー		
少年B	和知 良々夢(高1)	59.25	
19位	100m自由形		
	曲山 陽菜(高1)	1:12.84	
13位	100m平泳ぎ		
	秋山 葉名(高1)	1:01.55	
10位	100mバタフライ		



から多くの方々が観戦に来ていただけましたが、いつものことですが、会場には制限がありました。視察員として数名は入れたのですが、視察が多すぎるとのことで後半入れなかった方々がいました。近県での開催なので観戦にはとてもよい機会ですが、日によってA Dカードを交換するなど連絡を取り合えばよかったと反省しました。出場選手はみんな応援したいですからね。

### 男子競泳予選

成年	服部 翼(大4)	51.83
27位	100m自由形	
	寺田 拓未(大4)	54.02
19位	100mバタフライ	
少年A	五十嵐 蓮(高3)	24.17
17位	50m自由形	
	吉田 朱佑(高3)	53.23
25位	100m自由形	
	但野 智哉(高3)	2:10.09
22位	200m背泳ぎ	
	岩崎 幹大(高3)	4:05.89
21位	400m自由形	4:28.91
12位	400m個人メドレー	
	安齋 叶空(高3)	2:05.37
19位	200mバタフライ	
	岩崎・但野・五十嵐・吉田	7:43.15
13位	800mフリーリレー	
	但野・五十嵐・安齋・岩崎	3:51.23
16位	400mメドレーリレー	
少年B	野矢 育夢(高1)	53.58
17位	100m自由形	
	齋藤 洋太(高1)	4:14.86
30位	400m自由形	
	杉山 尚輝(高1)	56.62
17位	100mバタフライ	

今年の国体もなかなか厳しく、入賞2名(野矢育夢・秋山葉名)という結果で、あと一歩という結果が多かったです。何が足りないのだろうか?何をすればいいのだろうか?応援するしかできない立場で言えることは何もないのですが、思えます。水泳に関わっている選手が一人でも多く長く水泳を続け、夢をもち、その夢を達成するために頑張っている環境を作っていけるように。

先の未来を見つつ、今を考えて行こうとするコーチ達の姿に大変さを今年も感じ、頑張るその姿に頭が下がります。多くの方々の協力、支援、応援で、これからも『チームふくしま』を応援していきます。



## 追記①

今年のオープンウォーターは潮来で行われました。11日開催へ向けて前日入りしようとした寺田選手は東京駅で足止めを・・・。そうです。台風の強風によって電車やバスはもとより、高速道路等も通行止め。そして大停電をした千葉の影響で動けなくなったのです。友人の車で行くとしたらしいのですが、三浦監督から「停電で何もできないから、今日は来ない方がいいよ。」と。千葉の停電は茨城にも影響をしていたのです。「まさか都内で足止めとは・・・。」と寺田選手は語ってくれました。

## 追記②

国体のあとから行われるはずであった「いきいき茨城ゆめ大会」（全国障害者スポーツ大会）がまたまた台風19号の影響で中止に。県内でも私の住むいわき市でも甚大な被害がおきました。命を一番に・・・というほどの災害でしたので中止は良い判断だったと思います。しかし、愛媛国体の時にも思いましたが、この日のために頑張ってきた選手や関わる周囲の人達、大会運営に携わった人達の苦勞を思うと、何とも言えません。自然の力の前には本当に無力。しかし、季節感や自然環境が変化していくことに対応して大会の時期も今後は考えていかなければならないのでしょうか。東京オリンピックのマーケティングも議論されました。地球温暖化だけでなく、

## 雨にも負けず！？

今年の国体は茨城県。私でも行ける距離だ。水球会場の土浦第二高等学校は、屋外の仮設スタンド設置のプールです。大会最終日は大雨。傘の使用が禁止の為、合羽を着ての観戦です。

寒い、冷たい、雨粒が痛い、衣類はグチャグチャ、手指はふやける。応援席は、自然との戦いでした。

それでも、東北からの応援団があちこちに。懐かしい顔も見受けられました。

3位決定戦は、地元茨城県と山形県の試合です。山形の粘りも及ばず13-14で茨城県の勝利。優勝決定戦も観たかったのですが、ここまででギブアップ。

帰りは、近くのイオンモールで衣類を購入。試着室で着替えて出てきました。（めぐみ）



## オープンウォーター

寺田 拓未(大4)  
12位 男子5k 1:06:48.1  
橋本 優心(中3)  
33位 女子5k 1:31:03.8

## 飛込

白井 健太  
16位 少年男子飛板飛込 201.50  
16位 少年男子高飛込が、 129.30  
西川 友章  
16位 成年男子飛板飛込 279.60

リンピックのマーケティングも議論されました。地球温暖化だけでなく、

## 君の夢 かなえる場所が 近畿にある

全国中学校水泳競技大会 8月 17日～ 19日 京都アクアリーナ

初めての夏の京都。おりしも大文字送り火の当日入りでした。残念ながら実際に送り火を目にすることはできませんでしたが、夜の人出で雰囲気を感じ、大会会場の電光掲示板できれいな送り火を見ることができました。

さて、今年の競泳は、二本松三中の渡辺皓太君と郡山七中のメドレーリレーのみという出場でした。昨シーズンの様子からあと数人は行けるのでは・・・と予想していましたがきびしいものでした。夏シーズンまで、順調に伸びていくとは限りませんが、強くなるということの難しさを感じました。ただその分、飛び込み競技に出場した3名の競技を十分に見ることができたのは良かったです。史上最年少で日本選手権を勝ち抜いた玉井陸斗君(中1)の演技は圧巻でしたが、出場選手には中学1、2年生が目立ちました。

世代交代の時期なのか？わかりませんが、飛び込みにも競泳にも、次々にすばらしい選手が出てきて、切磋琢磨してほしいと思います。

## 競泳

男子 400mメドレー  
郡山七(田中佳、田中優、中林、帆刈) 33位  
200m個人メドレー 渡辺皓太(二本松第三) 27位

## 飛び込み

(男子) 管 佑梧(若松第六)  
(女子) 伊東 波(若松第三) 西川炎歩(安積)

